

# ちよんまげ



## 第3回定例会

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| 決算認定   | 行政情報配信の整備等 >>> P.2     |
| 決まったこと | 26年度補正予算・専決処分等 >>> P.5 |
| 一般質問   | 4人が町政を問う >>> P.6       |
| 委員会報告  | 災害用備蓄品の配備 >>> P.10     |
|        | 有害鳥獣対策にパトロール >>> P.11  |
| まちの元気  | あすなるカラオケクラブ >>> P.12   |

ちよんまげ、とられるな!

和東小学校運動会(ちよんまげ天国、5・6年)

平成25年度  
決算認定

# マウンテンバイクコースや 茶源郷行政情報配信システムを整備

平成26年第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間開催しました。

定例会には、町制60周年記念事業などの補正予算や平成25年度決算認定など15議案が町長から提出され、「消費税の再引き上げに反対する意見書」など2件が議員提案で提出されました。

一般質問では、茶業振興やふるさと納税、子育て支援、介護保険、茶源郷和東のまちづくりなどについて4人の議員が町長の考えをただしました。

## 平成25年度決算は、1億817万円の黒字

定例会では、平成26年度補正予算や平成25年度一般会計の他6つの特別会計の決算認定、人事案件、過疎地域自立促進計画や湯船辺地に係る整備計画の変更、相楽東部広域連合の規約変更などを審議しました。

平成25年度決算の審査にあたっては、特別委員会を設置して9月9日・10日の2日間審議しました。平成25年度の一般会計は、歳入総額35億676万円・歳出総額33億8655万円で、繰越し事業に必要な金額を除き、差し引き8472万円の黒字となりました。

また、国民健康保険や簡易水道などの6特別会計では、合計で歳入18億2088万円・歳出17億9743万円で差し引き2344万円の黒字を計上、全

会計で黒字決算となりました。

平成25年度の主な事業としては、前年度から継続の防災行政無線事業が完成、災害に強いまちづくりに地域防災計画の見直しや河川改修・浚せつ。また、和東町協働のまちづくり補助金の創設や京都府初のマウンテンバイクコースの整備。町内光回線の整備にあわせた茶源郷行政情報配信システムの構築、日本で最も美しい村連合への加盟、子育て支援対策としてはベビーモニターの貸出しや0歳児保育に向けた施設整備など多くの事業に取り組みされました。

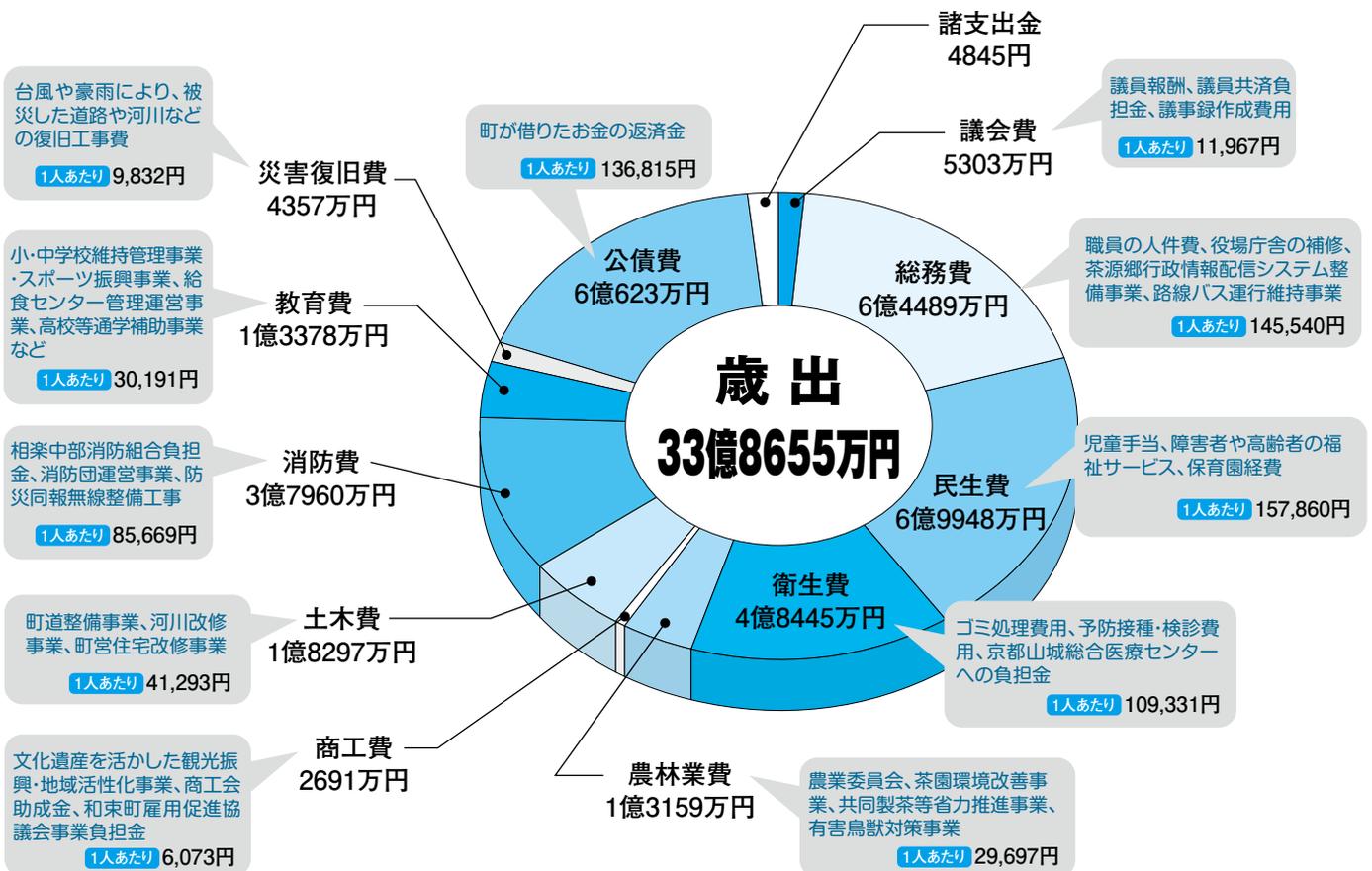
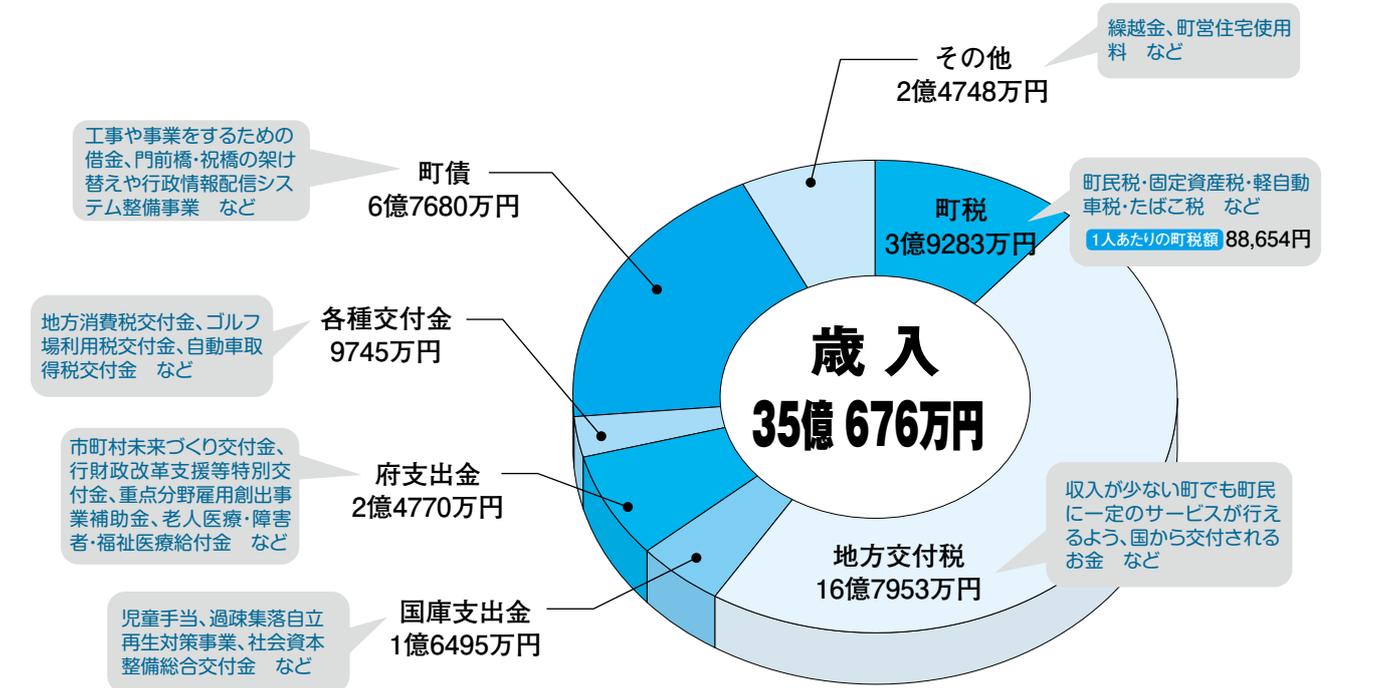
審議の結果、町長提出の15議案は全て原案可決。議員提案の意見書2件は否決となりました。

## 平成25年度特別会計決算

特別会計の名称	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
湯船財産区	643万円	567万円	76万円	
国保	事業	7億2865万円	7億2781万円	84万円
	直診	8702万円	8408万円	294万円
簡易水道事業	2億985万円	2億477万円	508万円	
下水道事業	1億8176万円	1億7813万円	363万円	
介護保険	事業	5億4986万円	5億4038万円	948万円
	サービス	278万円	255万円	23万円
後期高齢者医療	5449万円	5402万円	47万円	
合計	18億2088万円	17億9743万円	2345万円	

※万円未満切り捨てのため、差引額、合計に誤差が生じる場合があります。

# 平成25年度一般会計決算



※一般会計の決算額をベースにして平成26年3月31日現在の人口4,431人で算出しました。

# 防災行政無線が完成。利用方法とは

**問** 防災無線の受信機の設置台数と、今後の利用方法は

**答** 総務課長

設置数は1513台です。

**答** 町長

防災の緊急連絡以外に、各課からのお知らせや、各区単位での発信が可能。今後さらに防災無線の利用拡大、充実を図っていききたい。

**問**

光ボックスの設置が目標（500台）未達成だが何が原因か

**答** 総務課長

本格的な工事着工が1月以降にずれ込んだためであり、光回線700世帯の設置に向けて努力していききたい。

**答** 町長

今後、光ボックスのアプリケーションの組み合わせ等で知恵を絞り、進化出来るように取り組んでいきたい。

**問**

空き家対策の取り組み方と直面する課題とは

**答** 農村振興課長

集落ごとに空き家の基礎調査を実施中であり、その結果をみて具体的な対策を考えていきたい。

**問**

地方公共団体の公会計整備による複式簿記の財務4表※作成の狙いとは

**答** 総務課長

行政改革推進に基づきバランスシート及び、行政コスト計算書の活用を進め、さらに固定資産台帳の整備を行うことです。

なお、ホームページで公開しています。

**問**

日常生活が脅かされる有害鳥獣の今後の防御対策と現状について

**答** 農村振興課長

電柵、金網の防御により水田と農地については一定の手ごたえを感じている。

捕獲については捕獲檻の利用なり、猟友会の協力を得ながら対策をとっていききたい。

**問**

消防団の再編、団員数について

いかに検討されているのか

**答** 総務課長

条例定数の団員数が適切なのか、団員確保は大変重要であり検討課題は多々あるが、協議には至っていない。有事の際のみ活動をする機能別団員の導入により、団員の確保を図ることを考えている。

**問**

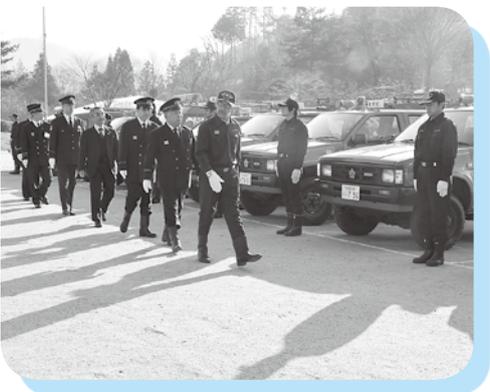
財政状況は厳しく収入未済金の取り扱いについては

**答** 参事

未済金の徴収の研修もふくめ職員意識改革に努めたい。

**答** 副町長

滞納整理は断固たる覚悟で取り組みたい。特に公共料金の滞納の強化月間を定めて、家庭訪問なりを行い徴収を促したい。



初出式で観閲をうける消防団員

## 各議員の賛否

平成26年第3回定例会(9月)に、町長から提案された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田泰正	吉田哲也	畑 武志	前出 茂	岡本正意	竹内きみ代	岩崎宗雄	小西 啓	山口勝己	籠島孝幸
認定	委	平成25年度一般会計決算認定	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認定	委	平成25年度国民健康保険特別会計決算認定	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認定	委	平成25年度下水道事業特別会計決算認定	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認定	委	平成25年度介護保険事業特別会計決算認定	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認定	委	平成25年度後期高齢者医療特別会計決算認定	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※会議区分 委-決算特別委員会 ○は賛成 ・×は反対 ・-は委員長  
岡田泰正決算特別委員長は決算認定の採決に加わらない。

財務4表(※)決算に係る貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書をいう。

# マイナンバー制度へ電算システム改修

定例会で決まった主なこと

## 平成26年度補正予算

一般会計補正予算（第3号）  
 予算現額に3900万円を追加し、総額35億5259万円に。

### 主なもの

町制60周年記念事業に係る費用  
 143万円  
 今年11月16日開催の町制60周年記念事業に要する費用です。

社会保障・税番号制度導入に係る電算システム改修費  
 539万円

平成27年10月から全国的に導入されるマイナンバー制度

### 人事関係

#### 自治功労者に森脇美隆氏

本町自治の発展に永年貢献された前副町長の森脇美隆氏を自治功労者被表彰者とすることに同意しました。

に向けての改修費です。

債権処理弁護士委託料

100万円

公共料金の滞納処理に係る

弁護士委託料です。

自転車振興計画策定事業委託料

500万円

サイクリング等を観光に結びつけて町内の道路を総合的に整備する計画づくりです。

予防接種等委託料

188万円

予防接種法の改正により平成26年10月1日から「水痘予防接種」と「高齢者の肺炎球菌予防接種」が新たに定期接種に加わることに伴うもので

町道維持修繕費

532万円

町道の維持修繕にかかる測量や修繕工事費用です。

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

保険事業勘定の当初予算に平成25年度の療養給付費等国庫負担金の返還金等の1949万円を追加し、総額を7億3759万円に。

診療施設勘定の当初予算に診療

所駐車場周辺の白線区画整備等に34万円を追加し、総額8964万円に。

簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

予算現額に町営住宅建替工事と町道山口線拡幅改良工事に伴う水道管布設替工事費や落雷による電気機器修理に2115万円を追加し、1億7558万円に。

予算現額に町営住宅建替工事と町道山口線拡幅改良工事に伴う水道管布設替工事費や落雷による電気機器修理に2115万円を追加し、1億7558万円に。

災害発生に伴う設計委託料等

一般会計補正予算（2号専決）

8月9日から10日の台風11号による町道等被災箇所復旧のための応急廃土や測量設計委託料379万円を補正。

規約変更等

計画的な橋の修繕などを追加

更

橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に町内の橋を修繕することや相楽東部クリーンセンターのごみ処理施設を計画的に改修することを本計画に追加しました。

### 電波利用の改善を追加

湯船辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

湯船森林公園内で携帯電話が使用できるように本計画に事業を追加しました。

### いじめ調査委員会設置を追加

相楽東部広域連合の処理する事務の変更及び相楽東部広域連合規約の変更

いじめ防止対策法の施行に伴い、相楽東部広域連合の事務の中に「いじめ調査委員会の設置及び運営に関すること」を追加しました。



町制60周年記念事業（敬老福祉のつどい）

# 町政を問う

## 4人が一般質問

問

新たな茶業振興で  
経営基盤の強化を

答

茶業後継者、担い手確保と  
基盤整備や農業法人の育成を行う

問

26年産の茶生産について  
過去5年間の生産状況と比  
較して平均単価、生産量は  
どうであったか。

答

農村振興課長

一番茶、二番茶単価は  
93・7%、生産量は94・  
3%、茶全体の生産額は  
92・7%で、過去5年の平  
均と比べても26年産は減少  
している。一番茶の碾茶は  
単価、数量とも半年並みで  
二番茶については生産量  
85%、生産額は83%で減収  
減額である。

問

今後の茶業振興対策の具  
体策は何であるのか。

答

農村振興課長

茶業関係団体が一丸と  
なって宇治茶のPRによる  
消費拡大と茶業経営におけ  
る作業の省力化、肥培管理  
の推進と安心安全なお茶を  
提供する。町全体が目指す  
方向と考える。

問

茶農家の後継者育成の対  
策は。

答

町長

認定農業者と中核的農家



岩崎 宗雄 議員

から検討する。

問

「茶とともに生きる」と  
いう茶源郷の地域価値を共  
有するため「茶薦士認定制  
度」の取組の考えは。

答

町長

町職員が先頭に立ち、こ  
の制度を進めたい。

問

役場庁舎内に給茶機の設  
置をして茶の宣伝と消費拡  
大を。

答

町長

設置については技術面、  
衛生面、管理面の対応法も  
含めて検討する。

問

GAP(※  
2)の取組  
に対する支  
援制度は。

答

農村  
振興課長

京都府関  
係機関等の  
動向を見な



役場に設置された給茶機(南山城村)

認知症対策について

問

認知症の早期発見・早期  
治療の取組内容は。

答

町長

民生児童委員や社会福祉  
協議会、ボランティアによ  
る見守りや和東町地域包括  
支援センターによる訪問活  
動や相談業務により早期発  
見に努めている。医療関係  
では京都山城総合医療セン  
ターで物忘れ外来が開設さ  
れ、また、かかりつけ医と  
鑑別診断や急性期患者の受  
け入れ等について連携され  
る。

問

認知症になっても安心し  
て暮らせるまちづくりを。

答

福祉課長

介護保険給付サービスだ  
けでなく地域の住民や関係  
団体、町が一体となって互  
いに支えあう仕組みを整備  
していくことが不可欠と考  
えている。

※1 担い手が不足する集落を解消し、持続可能な力強い農業経営構造に転換するための京都府の事業。

※2 農業生産工程の管理手法

問

ふるさと納税の活用は

答

まだ活用していない

問

平成20年度以降、ふるさと納税の運用はどのようになっているのか。

過去6年間各年度でどのように推移しているのか。

また、その支出はどのような状況であるのか。

答

総務課長

26年度9月現在、合計65件、169万5千円。

目的としては、

1. 自然が輝く緑豊かなまちづくり

2. 住んでよかった麗しのまちづくり

3. 子どもからお年寄りまで元気なまちづく

り

4. 文化が香る元気なまちづくり

5. 行ってみたい茶源郷づくり

55万円

18万2千円

38万2千円



ふるさと納税のお礼品

の5分野となっている。

ふるさと納税に対するお礼としては和東町の特産のお茶を贈呈している。



畑 武志 議員

問

ふるさと納税の活用について町長はどのように考えているか。

答

町長

現時点では、基金に積み上げている状態。

近年、インターネットなどの多様化によりお礼の贈答品の比較などができ、競争に熱くなること

問

ふるさと納税が有利な財源となりうるというわけではないが、もっと活用できなかったのか。

また、活用しないのか。

答

副町長

5つの目的とした基金の積立として、町長の答弁しましたとおり、こつこつ積み上げてきたわけで、基金活用はしておりません。来年度以降活用に向け、庁内検討委員会などを設け時期的にも7年目を迎え、寄付いただきました方々へ報告できるように検討したい。

問

基金として積み上げることは理解できるが、いつま

は反省すべきことだが、今回のホームページの改修、他のネットワークへのリンクなどで普及を検討したい。

また、和東を知っていたことで理解願いたい。

で貯めるのか少額だから何もできないでは、寄付された方々に対して誠意が見られないのでは。

答

副町長

合計金額200万円位が一つの線と考えている。

問

2040年に消滅する自治体として相楽東部3町村はベスト100に入っています。

更なるまちづくりに知恵を出し合い頑張っていたいただきたい。早稲田大学をはじめ多くの大学との連携も行われ、提案されている。このようなことも大いに活用され元気なまちづくりに取り組んでいただきたい。

答

町長

国も府も大きな変革期に入っています。和東町の職員も意識改革を行い、今までどおりの窓口行政だけでなく住民協働が進むよう取り組んでいきたい。

問

子育て支援の責任堅持し  
後退させず充実を

答

責任を果たすため  
努力したい

問

保育園等の運営基準や内容に変更はあるのか

答 福祉課長

年内に計画案ができる予定で検討中

問

現行の保育時間の保障を

答 福祉課長

最低限の時間は保障したい

問

引き続き町の認可施設として運営する方向で良いか

答 福祉課長

認定こども園ではなく、現在の保育園を継続する

問

保育料値上げはないか?

答 福祉課長

現行を踏襲するが基準額が上がれば値上げも考えられる



和東保育園

安心できる

介護保険制度に

問

来年4月以降の保険料の見直しは。これ以上の値上げは論外であり引下げや減免を

答 福祉課長

若干保険料は上がる予定。独自の減免は認められていない。

問

町の判断で減免は可能であり、軽減の検討を。

答 福祉課長

減免が可能か否かも含め検討する

問

訪問介護、デイサービス

の「受け皿」は?

答 福祉課長

多様な提供主体が参入する可能性がある

問

具体的に何があるのか?

答 福祉課長

現在はないが、法律改正で新規参入も考えられる

問

法律が変われば新規参入が生まれるものではない。甘く考えず町の責任で

サービス確保の検討を

答 福祉課長

新規参入は不明だが、現在の事業者の継続で進めたい

問

サービス水準は維持できるのか

答 福祉課長

多様なサービスを希望に応じて選べると考える

問

利用料はどうなる?負担を増やさない措置を

答 福祉課長

社協の事業では限界があり、ニーズがあれば一般の給食サービスを利用する手立てもある。



社会福祉協議会の配食サービス

問

茶源郷和東の  
更なるまちづくりは

答

総合計画に基づいて  
進める

問

雇用促進協議会が来年3月で委託事業終了となるが担当課としての評価は。

答

農村振興課長

平成19年に設立以来、交流人口25万人の目標を達成するため事業展開をしてきた。

問

委託事業終了後の計画は。

答

町長

いろんな団体が生まれ、さらに発展して和東町の原動力にして行きたい。

問

雇用促進協議会のこれまでの事業を今後の観光に生かして行く計画は。



和東茶カフェ

答

町長

雇用の確保や交流人口、定住人口の増加につなげていきたい。

問

雇用促進事業8年間の観光入り込客数と観光消費額は。

答

地域力推進課長

観光入り込客数は、平成18年には約4万8000人



竹内きみ代 議員

が平成25年では約7万人と約1.5倍に増加。消費額は一人当たり809円から1179円と約1.5倍に増加している。

問

増加要因は何か。分析は。

答 地域力推進課長

和東茶カフェの開設、地域団体の活動の充実、湯船マウンテンバイクコースや茶源郷マルシェなどが主な要因と考えている。

問

交流人口25万人に向け今後の具体策は。

答 地域力推進課長

府の景観資産登録された茶畑景観や日本で最も美しい村連合の加盟団体である

ことを一層PRする。今年度は、観光パンフの作成や景観条例の策定など観光振興に取組んでいる。協働のまちづくり補助金の活用による地域団体への支援を通して目標達成に向け取組む。

問

お茶の京都や宇治茶を世界文化遺産登録にむけた取組みの検討は。

答

町長

お茶の京都、世界文化遺産登録、犬打峠トンネル化の3つの事業を観光の視点で結び進めていきたい。

問

犬打峠トンネル化の住民活動が大きく前進した今、行政として検討委員会設置の考えは。

答

町長

府としっかり議論し一層重要な価値を持つものとして理解されるよう進めたい。

問

「宇治茶きらめき街道」本町の取組みは。

答 農村振興課長

和東茶カフェ周辺施設を

本町の中核拠点と位置づけ、これらの施設と接する3路線を中心にきらめき街道とする。

問

観光の中核となる拠点施設整備、観光協会について、今こそ検討する時は。

答

町長

現段階では協会の必要性は検討しつつ観光産業に従事する人を創出していく。一日も早い観光協会が設立できるように行政としても側面から応援していきたい。



トンネル化の住民運動

総務厚生常任委員会

災害用備蓄品や発電機などを  
各区に配備される

委員長 竹内きみ代

8月26日、総務厚生常任委員会では、平成26年度事業の進捗と平成25年度決算について調査しました。

事業進捗状況について、総務課では茶源郷行政情報配信システム整備が委託先のNTT西日本と動画やライブカメラ、機能の充実に向け2次アプリを構築するため10月を目途に調整が行

われる予定となっております。また、第四次総合計画後期基本計画策定と地域防災計画見直し業務については現在、委託業者を選定中であるとの説明でした。

地域力推進課では、協働のまちづくり・ひとづくり推進研究事業を早稲田大学と、景観を活かしたまちづくり推進事業や観光マップ作成事業を京都工芸繊維大学とそれぞれ進めており、現在景観条例の策定に向けての景観計画づくりアンケートを実施中とのことでした。



B & G海洋センター前の防災備蓄倉庫

税住民課では、国民健康保険事業で6月

1日現在、被保険者が898世帯、1767人、うち軽減対象が486世帯、5割軽減が127世帯と昨年を大きく上回っていることから、適正な保険事業の運営を考えるには病気の分析や特定検診の受診率向上を検討されたいとの意見がありました。

福祉課では、本年度消費税率引き上げに伴う低所得世帯への負担軽減として、臨時福祉給付金事業が実施されており、8月8日現在で328人の申請があったが、給付の執行率が約20%と低いのは町民税の非課税世帯に対する判断が複雑で難しいためであるとの説明があり、委員からは更なる周知のため住民への啓発を強化するよう意見がありました。

また、現在計画策定中の和東町子ども・子育て支援計画、第7次高齢者保健福祉計画及び第6次介護保険事業計画、障害者基本計画、新型インフルエンザ等対策行動計画など、いずれも平成27年度からの実施と

なるため、秋以降に策定業務を開始するとのことでした。

平成25年度の決算概要は、一般会計では8472万円の黒字決算、6特別会計では2345万円の黒字を計上しました。委員からは、国民健康保険が府へ移管されるまでの会計見込みについて、今夏の大災害を教訓に被害の未然防止としてタイムラインの活用や町制60周年記念事業の計画について

の質疑が交わされました。午後からは、26年度予算で整備された災害用備蓄品をB & G前の備蓄倉庫や各区に配備された発電機・非常食等の現地調査を行いました。



各区に配備している発電機

意見書

第3回定例会（9月）に次のとおり意見書が提出されました。

消費税の再引き上げに反対する意見書

提出者 岡本 正意義員

否決

賛成者 1人  
反対者 8人

集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書

提出者 岡本 正意義員

否決

賛成者 1人  
反対者 8人



担当課職員から説明を受ける委員

事業の進捗、決算概要の審議では、大雨被害の状況と対策、青年就農給付金の活用、耕作放棄地の対策、山の家リニューアルの取組み、空き家調査の進捗状況、雇用促進協議会の今後、常設パトロール隊の配置など有害鳥獣対策、各区のインフラ整備、トンネル実現への取組み、国道163号線の歩道整備や府道の安全対策等への要望や意見が出されました。

担当課からは、大雨被害は補正予算で対応する。青年就農給付金は、所得250万円以上は対象外と

なる。耕作放棄地対策は中間管理機構等の活用で対応する。山の家リニューアルは、年度内を目途に設計書を作成する。空き家調査については、8月から調査を始め、データづくりを進めている。今年度で補助金が終了する雇用促進協議会の今後は、事業まとめを行い一定の方向性を出し、新しい形での事業継続も検討する。有害鳥獣対策では、パトロールや追い払いを行う常設隊の配置を検討する。

各地域のインフラ整備は、南部・北部幹線等必要な箇所は、用地買収も含め責任を持って取り組む。トンネル実現では国や府への要望や陳情を継続する。国道163号線の歩道整備は今年度の中で進めており、通学路の安全対策としても進めている。柚田地内の府道拡幅も地元の理解も得て早急に進めている、などの答弁がありました。

なお耕作放棄地の問題を、委員会として位置づけを高め議論と対策強化に取り組む事を確認しました。

現地視察では、白栖並びに湯船地域でのサルやシカ等の捕獲檻の状況について説明を受け、現場の確認を行いました。

# 有害鳥獣対策 常設パトロールの配置を

産業常任委員会

委員長 岡本正意



サルの捕獲オリ

## 一部事務組合議会・広域連合議会報告

### 相楽中部消防組合

#### 花火大会事故を踏まえ条例改正

7月18日、臨時会が開かれ、会議規則の全部改正、議会運営委員会等を設置する委員会条例の制定、福知山市での花火大会火災事故を踏まえた火災予防条例の一部改正は、いずれも賛成者多数で可決されました。

### 京都府後期高齢者医療広域連合議会

#### 平成25年度一般・特別会計決算いずれも認定

8月22日、定例会が開催され、平成26年度特別会計補正予算、東日本大震災の被災者の被保険者に対して保険料を減免する条例の一部改正は全員賛成で、平成25年度の一般会計・特別会計の決算認定は賛成者多数で可決されました。

### 京都地方税機構広域連合議会

#### 副広域連合長に山内副知事再任

8月30日、臨時会が開催され、平成25年度一般会計の決算認定は賛成者多数で可決、差押債権取立請求事件に係る訴えの提起の件については全員賛成で承認されました。

### 相楽東部広域連合議会

#### 損害賠償請求事件で判決

7月7日、定例会が開催され、東部クリーンセンター1の損害賠償請求事件に勝訴判決がくだり、被告2社が控訴との報告。広域計画の変更、障害者介護給付費等支給認定審査会委員の定数等を定める条例の一部改正、平成26年度一般会計補正予算等は、賛成者全員で可決されました。

まちの  
“元気”を  
訪ねて

# 平均75歳で活躍! 今後は慰問や訪問もしたい

「あすなるカラオケクラブ」

今回は老人福祉センターで練習されているカラオケクラブを紹介します。

**Q** いつから活動をされていますか。

**A** 30年ぐらい前から有志により始めました。

**Q** 現在、会員は何人おられますか。

**A** 会員は約50人、平均年齢約75歳で活動しています。

**Q** 練習はどのようにされていますか。

**A** 月に2回。第2・4火曜日、午前9時から12時ぐらいまで。会費は3ヶ月に1000円徴収。練習場所までは送迎バスで各区を回って送迎。選曲はハッピー演歌で老人の方にも楽しく歌っていただけるようにしています。

**Q** どんなどころで発表されていますか。

**A** 発表会は年に1回、1月に老人福祉センターで。全員参加で全員が歌います。

**Q** 活動を通じてうれしかったことは、逆に苦労や悩みなどはありますか。

**A** 練習を通じてコミュニケーションがとれて、全て忘れて楽しく過ごせます。

**Q** 会員の募集はされていますか。

**A** 口伝えで募集していて、大きな広報活動はしていないが、多くの方に参加していただきたいです。

**Q** 今後の活動への思いを聞かせてください。

**A** 今後は慰問やふれあいサロンなどへの訪問もしたいです。



持ち歌を歌う会員



あすなるカラオケクラブの皆さん

あすなるカラオケクラブの問い合わせ先

代表 奥 信之

TEL. 0774-78-78-2612

## 編集後記

日本は、少子化等により人口減少が著しく、多くの自治体が消滅するといわれています。人口減少に歯止めをかけ、活力を取り戻すため、地方創生の基本理念等を定めた「まち・ひと・しごと創生法案」が衆議院で審議入りされました。

当法案は、自治体が独自の町づくりに知恵をだし、その自助努力を政府が税財政措置や規制改革で後押しするというものです。

京都府は、非常勤職員に特定の地域で一定期間、地域が推進する施策を支援する事業を始め、11月から和東町と八幡市の団体に各1名派遣されます。当非常勤職員は半官半民で、「まちの公共員」と名付けられ期待されています。

協働のまちづくりを推進する本町にとって、大きな支援となることでしょう。

9月議会を中心に編集しています。ご意見等お寄せいただければ幸いです。

## 広報編集委員会

- 委員長 岩崎 宗雄
- 副委員長 岡田 泰正
- 委員 山口 勝己
- 委員 山内 勝己
- 委員 竹内 幸代
- 委員 籠島 孝幸

第4回定例会は12月10日開催予定。傍聴にお越しく下さい。